

# MOV,press | Vol.40 | 2024. JUL |

語る!動く!つながる!ものづくり大阪

MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)は、大阪府と(公財)大阪産業局が連携して運営する「府内ものづくり中小企業の総合支援拠点」です。

[ムーブプレス]



WEB版は  
こちらから

>02

## 「コーディネーターの現場報告」

MOBIOの常設展示場のご紹介

>03

## 「ゲンバへ行こう!」

工場視察や体験学習の受け入れで地元に貢献



株式会社大阪工作所

## 「元気な企業、若い力で大変身!」



株式会社タケヤテック

>04

## 「ゲンバから製造技術紹介」

挑・彩・貼・臨のプロフェッショナルたち



株式会社伸和製作所



株式会社ナガサカ

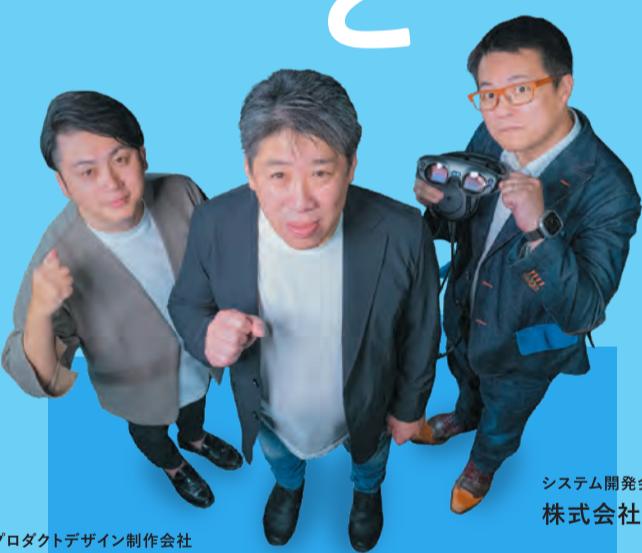


株式会社石山製作所



有限会社小方化学製作所

# 「本音で語る つながり方」



プロダクトデザイン制作会社  
株式会社PRODUCT158

システム開発会社  
株式会社USEYA

医療機器部材製造会社  
株式会社若林精機工業

ギャップが埋まらないと嘆く前に

## つながると次の展開が見えてくる!

「デザイナーはものづくりを知らない」「ものづくり企業は頑固」…

しかしもう、お互いに壁をつくっている時代ではありません。

元をたどればモノを生み出す作り手同士。ものづくりへかける想いは同じです。

それぞれの世界で活躍する方々に、本音で語り合っていただきました。

本誌に掲載されているマークについて



【大阪ものづくり優良企業賞】

大阪府内のものづくり中小企業で、「高度な技術力」「高品質・低コスト・短納期」など総合力が高く、市場で高い評価を得ている企業に与えられる賞です。

>02

## SEIZO 3 TALK

### 「ものづくり3人座談会」

デザイン・ものづくり・ITで活躍する3社が本音で語る熱血トークムービー!

(※視聴時間約13分)



ムービー公開中!

▶今すぐ視聴!



## SEIZO 3 TALK 「ものづくり3人座談会」

「仕事」の関係ではなく、まずは「仲間」づくりから

きっかけはどうすればいいのか？アクションはどのように起こせばいい？

デザイン、ものづくり、ITで、お互いがメリットを共有できるつながり方について、熱く語り合っていただきました。



まずは「対話」を重ねたい、  
次への扉はそこから開かれる。

次への鍵は「オープン」かも  
工場から外へ出ることも大切。

IT、AIといえども最後は「人」、  
つながる場を提供したい。

プロダクトデザイン制作会社  
株式会社 PRODUCT158

**和田圭亮** 社長

医療機器部材製造会社  
株式会社若林精機工業

**若林繁正** 社長

システム開発会社  
株式会社 USEYA

**大子修** 社長

今回の「ものづくり3人座談会」の  
テーマは「ものづくりとデザインのつな  
がり方」。

大阪で活躍するクリエイターのため  
のコーディネート施設であるMEBIC  
(クリエイティブネットワークセンター大阪  
メビック)所長の堂野智史さんをお招きし、  
株式会社 USEYA(ユーズヤ)のデジタル工房設  
施「UAI(USEYA ADVANCED INDUSTRY)」  
にて収録。その代表を務めるシステム

開発会社の社長・大子修さんを筆頭に、主に医療機器部材を加工・製造する  
株式会社若林精機工業の社長・若林  
繁正さん、プロダクトデザイナーで株  
式会社PRODUCT158の社長・和田  
圭亮さんにお集まりいただきました。

対談は「デザイナーはチャラチャラ  
して、自分たちは違う」という若林さん  
の強烈な本音からスタート。「とは  
いえ同じものづくりに取り組む仲間」と  
答えた和田さんは、お互いの接点や

活用の仕方を語り、大子さんはそんな  
人たちがつながる場としての「UAI」の  
機能や役割について語ってくださいま  
した。

「デザイン、ものづくり、ITを別々に  
語る時代ではない」「お互いの壁をど  
う埋める?」という堂野さんの問い合わせ  
に、互いができる取り組みやアクション  
へと話題が進み、次への可能性が広  
がる座談会になりました。その模様は  
ぜひムービーでご視聴ください。

## 「コーディネーターの 現場報告」

Vol.4 MOBIOのイチオシ！  
「常設展示場」のご紹介

MOBIO北館の1階と2階にある常設展示場。  
国内最大級、およそ160社の  
最新技術や製品がズラリと並ぶ。  
出展するとどのようなメリットがあるのか？  
コーディネーターのお二人に伺いました。



—常設展示のメリットはどこにあると  
お考えですか？

Kさん(以下K): その名の通り、常設である  
ことです。展示会だと期間が過ぎれば  
終わります。MOBIOの場合は開館時間  
中が展示期間。お客様にとってはずっと  
出展していることになります。

Mさん(以下M): 実物の製品を自分の  
目で確かめることができます。それがカタロ  
グやウェブサイトと違うところです。製品  
でも、工具でも、実物を見る、物によつ  
ては手にとることができる。技術の凄さが肌  
感覚でわかることも展示の利点ですね。

—出展は費用的に高いとい  
うイメージがあるのですが。

K: MOBIOの出展料は1ブースあたり  
月額税込22,000円。初期費用は必要あ  
りません。電気代もブース加工費も含ま  
れています。お客様を1回接待する金

からお手伝いさせていただきます。パネ  
ルもディスプレイも第三者の視点で、企  
業の価値が届く展示を出展企業と一緒に  
創り上げていきます。

M: 映像を使って紹介したいという企業  
も増えてきました。モニターを用意いた  
だければ映像を流すこともできます。  
ブース数も2ブース、3ブースと利用して  
いただけます。企業の立場に立った展  
示を実現できるようフレキシブルに対応  
しています。

—出展は費用的に高いとい  
うイメージがあるのですが。

K: MOBIOの出展料は1ブースあたり  
月額税込22,000円。初期費用は必要あ  
りません。電気代もブース加工費も含ま  
れています。お客様を1回接待する金

## 「ゲンバへ行こう！」工場視察や体験学習の受け入れで地元に貢献！

高校生を対象にしたデュアルシステム※やインターンシップに毎年協賛。  
企業や海外からの視察見学も多数受け入れ、研修なども行っている。  
(※文部省が実験的に導入した、座学と企業での実習を組み合わせた学習システム)



1939年から工作機械や産業機械の  
製造を行う株式会社大阪工作所。工  
場の入口には、海外から視察見学で  
訪れた技術者一行のほか、近隣の中  
高生の体験学習時の写真がずらり  
と飾られている。

「子どもたちに地場の製造業を体  
験してもらいたい、ものづくりの街・東大阪に  
残っていく人材を育てたい」と、三代目  
社長・川田洋平さん。初代から取り組  
まれてきた地域貢献の精神はしっかりと  
受け継がれている。

株式会社大阪工作所

(東大阪市中野南1-34)

072-962-1515

<http://osaka-kousaku.co.jp/>



普段何気なく目にしたり触れたりして  
いる階段の手すりや滑り止め、扉のレール、  
エレベーターの足下部分などに使われて  
いるステンレス部品に注目！その複雑な  
形状はどのように作られているの？



冷間ロールフォーミングなど独自の技術で不  
可能な形状も可能にする型鋼成形の技術！  
現在製作可能なステンレス素材の型数は  
1,000種類を超える。

商社を通さず、独自に材料を輸入して仕  
入れのコストダウンを図っていることも  
大きな強み。成形に必要な金型はすべ  
て社内で設計・製作している。

MOBIO常設展示場出展企業  
【ブース：北館1F-28】

オーエフ工業株式会社

(四条畷市藤原新町7-28)

072-877-6363

<https://www.m-osaka.com/jp/exhibitors/505/>

<http://www.o-fco.jp/>



## 「元気な企業、若い力で大変身！」

「これが当たり前」という思い込みをひよいと越えると、  
若い人が集まり、元気な現場が生まれる。その秘訣をご紹介します。

ここに  
注目  
【ここに  
注目】  
「暗い、汚い、格好悪い」を「明るい、清潔、格好良い」へ！  
そしてオープンにして任せると現場が動き出す。

第2製造部部長の森下武尊さんが入  
社した8年前、5名だった社員が、現在は  
23名。平均年齢は33歳。急成長の秘密  
を伺うと「竹谷社長は社員を信じる人、  
任せる人でした。提案には少々の無理  
をしてOKを出してくれます。その分、  
結果を出そうとがんばりました」と森下  
さんは笑う。

タケヤテックの工場を訪れた人は誰も  
が驚く。工場が明るく清潔で、社員の挨拶  
が元気だ。そして整理整頓が行き届いて  
いる。「照明はLEDライトに変え、作業着  
もデザインしました。掃除も挨拶もそうで

すが、現場こそ、気持ちよく働ける環境づ  
くりが大切。「工場らしくない」というのは  
最高の褒め言葉です」と森下さんは言う。

しかし格好良いだけでは人は続かな  
い。若い人が活き活きと働く秘訣は働き  
やすさにあると森下さんは言う。「達成し  
たこと、これからのこと、現状の大変なこ  
ともみんなで分かち合って進む。成長の  
手応えが次の糧になるという感じで  
す」と森下さん。

明るく、格好良く、誠実に。若者がタケ  
ヤテックの求人に応募待ちしていると聞  
き、なるほど納得！であった。



森下さん

MOBIO常設展示場出展企業【ブース：北館2F-146】

株式会社タケヤテック

(大阪市西淀川区佃6-6-11) 06-6379-3455

<https://www.m-osaka.com/jp/exhibitors/1102/>

<https://takeyatech.com/>



## SELECT at LIBRARY

蔵書数日本一の公立図書館「大阪府立中央図書館」と「ビジネス支援、大阪資料・古典籍  
中心の図書館」大阪府立中之島図書館、合わせて約360万冊の所蔵本の中から、ものづ  
くりに携わる方に役立つ本を紹介しているこのコーナー。今回は中央図書館から特集ページ  
にちなんだ本をご紹介します。府内の公立  
図書館でも無料でお取り寄せ可能です。



『トコトンやさしい3Dものづくりの本』  
(柳生淨、結石友宏著)

日刊工業新聞社 2017年6月

3D-CADや3Dプリンタなどを使用した3  
次元のものづくり手法の歴史や周辺技術に  
ついて解説した、「デジタルものづくり」の入  
門にもいえる資料です。現在の日本と世界  
の状況・取組みについても「3D-CADの選び  
方」や「よくあるトラブル対策」など具体的な  
設計・活用方法を取り上げています。ぜひ当  
館所蔵の姉妹書「トコトンやさしい3Dプリ  
ンタの本」も併せて活用ください。

そのほかにもAutoCADのガイドを数多く  
所蔵しています。

司書 村上綾音  
大阪府立中央図書館  
(東大阪市荒本北)



## 挑 / 『攻めた結果を、責めるものはいない。』 若手のチャレンジを後押しし、技術を伝承



株式会社伸和製作所

枚方市津田山手2-7-1  
関西文化学術研究都市 津田サイエンスヒルズ  
072-808-5111（担当：日高）  
<https://www.shinwampm.co.jp/>

◎こんな業界・企業と繋がりたい ・「日本でしかできない技術」を要する企業様

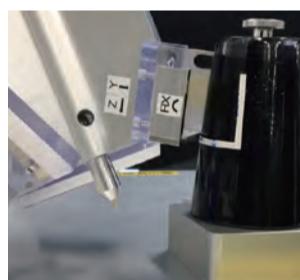
◎ご相談を受けた案件事例 ・船舶及び建機業界

「品質は工程でつくりこむ」を基本理念に掲げ、船舶用ディーゼルエンジン部品・精密油圧部品といった難易度の高い製品加工に従事する株式会社伸和製作所。1986年の創業から経験と実績を着実に積み上げ、2012年にベトナム進出、2019年に自社工場が完成。日本のものづくりの技術を現地に伝承し、クオリティの高い製品を製造しています。

最大の強みは「治具」を内製化できること。お客様の要望に応えるために、「こういう治具があれば解決できるのでは」という発想と、それを瞬時に実行に移せるフットワークの軽さに加え、鋳物の異形物に特化した加工技術を持ち合わせ、「伸和に頼めば100%の品質に必ずプラスαの付加価値が付いてくる」と信頼も厚い。

そんな、「人ありき」でしかできない日本の製造業の在り方を追求し、肌や手で直に感じる“ものづくりの楽しさ”を伝えるべく、人材の育成にも注力しています。

## 貼 / 0.1mmのフィルムを0.1mmのフィルムに貼る! 「貼る」「剥がす」技術を次のステージへ



株式会社石山製作所

交野市幾野6-38-1 072-893-5501（担当：竹上）  
<https://www.ishiyama.co.jp/>

◎こんな業界・企業と繋がりたい ・業界問わず、テープを「貼る」「剥がす」ことを必要としている企業様

◎ご相談を受けた案件事例 ・自動車部品、子供服、住宅設備などのメーカー様、大手テープメーカー様

1968年創業、各種自動省力化装置の製造・販売を行う株式会社石山製作所。液晶・半導体を貼り合せる「パネル貼付装置」の開発を軸に、豊富なノウハウと実績があります。

現在進めているのは、自動車のフィルムやシール貼付など、これまで人の手で行われていた繊細な作業を自動化する新製品の開発。有機ELなどの薄いフィルム同士を貼り合わせる技術をベースに、「貼る」「剥がす」作業を機械化することにより効率化・省人化が可能です。これらのニッチな作業に着眼して開発された技術は、あらゆる業界で応用可能。展示会などを通じて発信された製品には、すでに研究機関や食品業界からオファーが届いています。

テープの貼り方や剥がし方、貼りたい素材やサイズなどのご相談には、簡易的なテストができることも強みのひとつ。今後ますます活躍の場が広がることが期待されています。

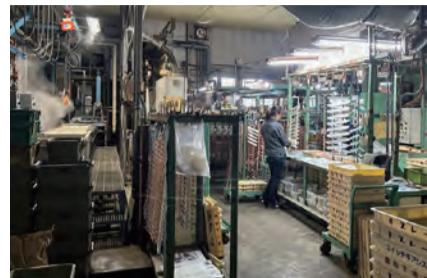
## MOBIO ものづくりビジネスセンター大阪 Monodzukuri Business Information-center Osaka

大阪府と(公財)大阪産業局が連携して運営する「府内ものづくり中小企業の総合支援拠点」

〒577-0011 東大阪市荒本北1-4-17  
(クリエイション・コア東大阪内)  
TEL.06-6748-1011  
<https://www.m-osaka.com>



## 彩 / クロメート皮膜による環境対応型カラーめっき 標準色以外もカラーバリエーションは無限大!



株式会社ナガサカ

東大阪市楠根2-5-37 06-6744-5353（担当：北野）  
<https://www.nagasakiplating.com/>



◎こんな業界・企業と繋がりたい ・DIY製品を取り扱う企業様、ホームセンター様など

◎ご相談を受けた案件事例 ・住宅及び自動車関連企業様、時計・エアガンメーカー様

1936年創業、めっき業界のパイオニアである株式会社ナガサカ。環境への配慮から「環境負荷物質」を排除した、めっき加工を行っています。

微細製品への加工を得意とし、住宅のブレーカー部品や車のバッテリー、カーナビ部品など、幅広い分野でその技術が採用されています。対応できるめっきの種類も豊富で、金めっきや銀めっきをはじめ、10種類以上。そこに下地の材質との組み合わせや工法を加えると、さらに多彩な表面処理が可能です。カラーバリエーションも日本トップクラス。要望次第でどんな色でも作り出すことができます。

現社長の勇断により、大型自動機は1台のみ残しすべて撤去。難易度の高い加工や試作品づくりに柔軟に対応でき、小ロットにも対応しています。大量注文にも小ロットの即日納品にも対応可能なナガサカ、多様な分野での活躍に期待が高まります。

## 臨 / 硬質塩ビなど、取り扱う樹脂は30種類以上 100個単位の小ロット成形もお任せください!



有限会社小方化学製作所

寝屋川市宝町19-8 072-826-2600（担当：市橋）  
<https://www.ogatakagaku.co.jp/>



◎こんな業界・企業と繋がりたい ・業種問わず、プラスチックの成形にお困りの企業様

◎ご相談を受けた案件事例 ・鉄道業界、織維機械系及び浄水器製造などのメーカー様

1967年の創業以来、樹脂素材の可能性を追求し、さまざまな製品の成形を行う、有限会社小方化学製作所。社員総勢8名と小規模ながら、多くのお客様から支持を得ているのは、プラスチック成形に関する課題に真摯に取り組むその姿勢にあります。

機械での自動化ができない工程も増えがちなインサート成形や金型が傷つきやすいカーボン・ガラス剤30%入り樹脂の使用、高い技術を要する厚肉成形、他の金型メーカーで製造した金型の移植といった、他社では敬遠されがちな依頼にも対応可能。また、1,000個単位の量産が基本の成形業界において、多品種かつ100~200個単位の小ロット生産にも対応しています。

「もっと硬く」「もっと柔らかく」「摺動性良く」はもちろん、「こんな樹脂で試してみたい」という要望にも知識とノウハウを駆使して臨む、それが小方化学製作所のポリシーです。

## MOOV,press Vol.40 / 2024.JUL

語る! 動く! つながる! ものづくり大阪 [ムーブプレス]

発行: MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)  
公益財団法人大阪産業局 MOBIO 事業部

制作: 企画・編集・デザイン

帆前好恵 (有限会社ガラモンド)

動画撮影・編集

筒井遼真 (株式会社テッククリエイティブワークス)

コピーライティング

西林初秋 (有限会社西林敏一事務所)

石田利恵 (株式会社アサック)